

# 地域と人びとをささえる資料

—文字資料から自然史資料まで—

2014年8月2日 土 13時～16時半

関東学院大学 関内メディアセンター M-803 室 横浜市中区太田町2-23  
横浜メディア・ビジネスセンタービル8F  
(当日は防災センター入り口からお入りください)

事前申込み 不要 / 参加費 500 円 (資料代として)

趣旨説明 —神奈川資料ネットの活動と課題—

多和田 雅保

(横浜国立大学准教授・神奈川資料ネット運営委員)

人びとの「生存」を支える歴史と資料

大門 正克

—2013年岩手県陸前高田フォーラムの経験から— (横浜国立大学教授・神奈川資料ネット評議員)

『かまぐら女性史』と地域資料

横松 佐智子

—編さん作業10年の過程から—

(かまぐら女性史の会 会長)

博物館自然史資料の重要性

山本 真土

—文化財レスキューの経験から—

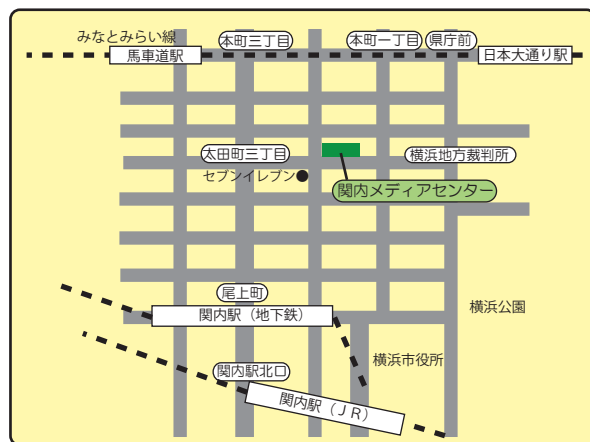
(真鶴町立遠藤貝類博物館 学芸員)

神奈川県内には、昔から文字資料や絵画資料、美術品、伝承、地名、自然史資料など、さまざまな資料が伝えられてきました。こうした資料は現在でも、社会の営みに伴って日々作られ続け、またあらたに自然環境のなかから発見されていますが、同時に生活様式の変化や災害などによって、急激に失われ続けてもいます。

しかし、これらは歴史学・自然科学などの学術研究に役立つだけでなく、何よりも地域に暮らすすべての人びとの生存や生活と深く関わっており、人びとが現在から未来にわたって、よりよい生活のありかたを主体的に創造していくうえで、かけがえのない価値を持つはずです。

資料はまさに、地域と人びとをささえるものなのです。

このシンポジウムでは、さまざまな資料を地域において守り伝えることがいかに重要か、各分野から報告者をお招きして考えます。



J R 関内駅・北口 徒歩 5 分  
横浜市営地下鉄 関内駅・3 番出口 徒歩 5 分  
みなとみらい線 馬車道駅・7 番出口 徒歩 5 分  
日本大通り駅・2 番出口

主催：神奈川歴史資料保全ネットワーク (神奈川資料ネット)

<http://d.hatena.ne.jp/kanagawa-shiryounet/>

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2 横浜国立大学教育人間科学部 多和田雅保研究室

TEL 045 (339) 3434 (火～木) tawada@ynu.ac.jp

後援：神奈川県図書館協会 神奈川県博物館協会 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会  
神奈川地域史研究会 神奈川大学 関東学院大学 横浜国立大学